※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　理科

教科	理	科目	(学)理科演習①	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	i版 化学基礎（啓林館），高等学校　生物基礎（啓林館） 地学基礎（啓林館）						
副教材等	大学入学共通テスト対策　チェック＆演習　化学基礎　（数研出版） 大学入学共通テスト対策　チェック＆演習　生物基礎　（数研出版） 大学入学共通テスト対策　チェック＆演習　地学基礎　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

既習事項の復習と基礎的な内容の問題演習を中心に扱う。科学的に探究する能力や態度を養い、基本的な概念や原理法則を理解し、科学的な自然観を育成する。

2　学習の到達目標

1.化学が物質を対象とする化学であることや,化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。
2．原子の構造および電子配置と周期律の関係を理解できる。
3．細胞や代謝、DNA、内部環境、生態系など生物学に関する知識を身に付け、科学的な見方や考え方を養う。
4．現在の地球の活動について観察，実験などを通して探究し，地球の構造や，プレートの運動と地殻変動や地震・火山などの地球の活動との関連や地球の大気と海洋の働きを理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	科学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理法則を理解し、身に付けている。探究の過程において方法や結果を的確に記録整理し、科学的に探究する技能を身に付けている。	自然や社会にある事物現象の中に問題をみいだし、事物を科学的論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。また、学びあいを通して、表現力や論理的に考える力を養う。	科学的に探究しようという態度が養われている。社会が発展するための基盤となる科学に対する興味関心を高めている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	化学基礎 物質の構成	原子の構造と元素の周期表 化学結合	a: 物質についての探究の方法を習得し，得られた結果を的確に記録，整理している。物質の構造・成分・化学結合と物質の性質に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。 b: 物質の構造・成分・化学結合と物質の性質を関連づけて考察し，導き出した考えを表現している。 c: 物質の構造・成分・化学結合と物質の性質に関心をもち，意欲的に探究しようとする。	学習状況 定期考査	ノート・ワークシート 観察・実験	探究活動 ノート・ワークシート
	生物基礎	生物の多様性と共通性 生物の共通性の由来 生物とエネルギー	a:共通の祖先が長い年月の間に変化して，生物が多様化したことを理解する。また，原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴や，真核細胞の細胞小器官の機能の概要を理解し，知識を身に付けている。 b:藻類，菌類，細菌の観察結果から，すべての生物のからだは細胞からなることを見いだし，生物が共通にもつ特徴を考察できる。 脊椎動物の系統樹から，生物に共通してみられる特徴は，進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察できる。 c: 生物の多様性や共通性について関心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	学習状況 定期考査	ノート・ワークシート 観察・実験	探究活動 ノート・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

前期	地学基礎　固体地球とその活動	地球 活動する地球	a 以下の項目について知り，理解することができる。 地球の形と大きさについて 地球の内部構造 地球内部の動き プレートの分布 プレートの境界 地殻変動と地質構造 変成作用 大地形の形成 地震の発生と分布 地震波の伝わり方 日本付近で発生する地震 火山の分布 火山の形成とマグマ 火山の噴火 火成岩の形成 火成岩の種類 b 上記の項目について，考え・まとめることができる。 c 以下の項目について探究することができる。 地球の大きさを求める 変成岩の分布とプレートの動き・地殻変動 震源の求め方 地震の分布 プレート境界地震 内陸地殻内地震 海洋プレート内地震 マグマの発生のしくみ マグマからの火成岩の形成のされ方	学習状況 定期考査	ノート･ワークシート 観察・実験	探究活動ワークシート 観察・実験レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度